

製品名: CPZ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09339**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	CPZ
別名	CPZ; Carboxypeptidase Z; CPZ
遺伝子 ID	8532.0
SwissProt ID	Q66K79
免疫原	CPZ 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 330-410

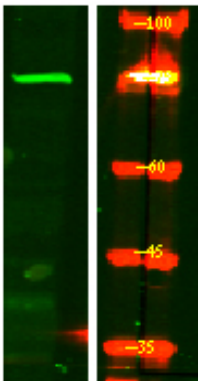
背景

カルボキシペプチダーゼ Z (CPZ) ホモサピエンス この遺伝子は、メタロカルボキシペプチダーゼファミリーのメンバーをコードしています。この酵素は、C 末端に塩基性残基を持つ基質に対してカルボキシペプチダーゼ活性を示します。中性 pH で最も活性が高

く、メタロカルボキシペプチダーゼの活性部位特異的阻害剤によって阻害されます。コード領域における選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年7月]、補因子：サブユニットあたり1個の亜鉛イオンに結合する。、酵素制御：2-メルカプトメチル-3-グアニジノエチルチオプロパン酸 (MGTA) およびグアニジノエチルメルカプトコハク酸 (GEMSA) によって阻害される。EDTA や EGTA などのキレート剤によって阻害される。、機能：C末端にアルギニン残基を持つ基質を切断する。おそらく、何らかの未定義のタンパク質を切断することにより、Wntシグナル伝達経路を調節する。プロホルモンプロセッシングにおける切断に関与する可能性がある。、類似性：ペプチダーゼ M14 ファミリーに属する。、類似性：1つの FZ (frizzled) ドメインを含む。、組織特異性：胎盤では、浸潤性栄養芽細胞内および周囲の細胞外空間に存在する。羊膜細胞にも存在するが、この細胞型の細胞外マトリックスでは容易には確認できない。正常下垂体および腫瘍性下垂体 (特に POMC、GH、および PRL 産生腺腫) に (タンパク質レベルで) 存在する。広く発現している。、

研究分野

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。